

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立高部屋小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができている。 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。 ・話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・台形の意味や性質について理解している。 ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。 ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現できている。 ・レタスの種子の発芽の条件について、採点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現できている。 ・水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することが概ね理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果を基に考察し、問題に対するまとめの理由を適切に表現すること。 ・電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識を身に付けること。 ・ヘチマの花のつくりや受粉についての知識を身に付けること。 ・顕微鏡を操作し、適切な像にするための知識・技能を身に付けること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> ・人の役に立つ人間になりたいと考える児童が多い。 ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている児童が多い。 ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしていない児童が一定数いること。 ・友達関係に満足していない児童が一定数いること。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

漢字を文の中で正しく使ったり、応用的な課題を解決したりするための基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指していく必要がある。そのために、見直したカリキュラムをさらに検討し、繰り返し学習を継続的に取り入れていく。

【国語】自分の考えを文章にまとめて書く作業を引き続き授業の中で取り入れていく。

【算数】計算方法、単位の意味、表やグラフの読み取りなど身に付けたい力を単元の最初に確認してから問いに取り組んだり、関連する学習を始める前や途中で振り返りの練習問題に取り組んだりする。既習の練習問題に継続的に取り組むことで、基礎学力の定着を図り、課題を解決できる経験を増やしていく。

【理科】実験器具の名称や用途を使用する時に、繰り返し確認することで定着を図っていく。

どの教科においても「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を意識し、話し合い活動を中心に互いを認め、自分のよさを見つける活動を意識的に取り入れることで、児童の自己肯定感を高めることができる取組を実施していく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・質問調査では、「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と感じている児童が多くいました。分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる考え意欲的に取り組む姿が見られています。

・調査結果より、朝食を食べない児童や寝る時間や起きる時間が決まっていない児童が一定数いることが分かりました。空腹や睡眠時間の減少により、朝から不調を訴える児童も見られます。成長期の子どもたちには、体を動かす遊びや運動の習慣が大切であることも合わせ、ご家庭でも生活習慣について今一度確認していただくと幸いです。

・学校に来ることが楽しい、普段の生活の中で幸せな気持ちになると感じることも家庭や地域で子どもの見守り、健やかな成長を支えていただいているからだと考えています。たくさんのご協力に感謝申し上げます。引き続き家庭や地域と学校が連携し、それぞれの役割を果たしていくことができれば幸いです。